

## 公益財団法人 タカタ財団 第9回助成研究報告会のご案内

タカタ財団は、交通安全の研究、特に人的な側面からの研究を支援することにより、多くの人と共に交通事故犠牲者ゼロの夢に一步ずつ近づいていきたいと考えて設立され、年月を重ねるごとにその成果が表れてきています。

平成20年12月の財団設立以来、平成21年度を初年度として研究助成を公募、実施して参りました。

その研究の成果を広く知っていただくために、平成29年度研究成果発表の場として、『公益財団法人 タカタ財団 第9回助成研究報告会』を開催いたします。

開催日時	平成30年6月5日（火） <助成研究報告会> 14:00~17:00（開場13:30） <懇親会> 17:30~19:30
会場	国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール（東館地下1階） 【所在地】 東京都港区六本木5-11-16 <a href="http://www.i-house.or.jp">http://www.i-house.or.jp</a> TEL 03-3470-4611 【アクセス】 下記交通機関をご利用ください。 [東京メトロ日比谷線、都営地下鉄大江戸線] 六本木駅下車（出口3）徒歩10分 [都営地下鉄大江戸線] 麻布十番駅下車（出口7）徒歩5分 [東京メトロ南北線] 麻布十番駅下車（出口4）徒歩8分 [渋谷駅より（都営バス）] 新橋駅前行（都01）六本木下車 徒歩12分 *助成研究報告会終了後、17:30より懇親会を開きますので、 「榊山・松本 Room」（東館地下1階）へご参集ください。
参加費	無料
お申し込み方法	<a href="mailto:hokokukai@takatafound.or.jp">hokokukai@takatafound.or.jp</a> より、氏名（よみがな）、所属、昼間連絡の 取れる電話番号をご記入の上、お申込みください。
お申し込み締め切り	満席になり次第、受付を締め切らせていただきます。
お問合せ	<a href="mailto:hokokukai@takatafound.or.jp">hokokukai@takatafound.or.jp</a> TEL : 03-5573-2341 FAX : 03-5573-2342

助成研究報告会プログラムは次頁でご覧いただけます。

## 公益財団法人 タカタ財団 第9回助成研究報告会 プログラム

平成30年6月5日

司会 古谷知之氏（公益財団法人 タカタ財団 理事、慶應義塾大学教授）

14:00  
開会

開会挨拶  
公益財団法人タカタ財団 理事長 高田暁子

平成29年度 助成研究 本報告

14:05

自動運転システム制御車両が混在する交通流における運転者のストレス・精神的負担の計測  
大阪大学大学院 工学研究科 准教授 飯田克弘氏

14:30

軽度認知症患者および認知症患者の運転技術についての研究  
京都大学 医学部 人間健康科学科 教授 木下彩栄氏

14:55

高齢者の交通事故傷害予測モデル開発と歩行中および自転車乗車中の傷害予測  
芝浦工業大学 工学部 機械学群 機械機能工学科 教授 山本創太氏

15:20

住宅地の土地利用変化を考慮した高齢者と子育て世代の親和性を高める持続的交通安全施策に関する研究  
東海大学 工学部 土木工学科 特任准教授 鈴木美緒氏

15:45

休憩（15分）

平成29年度

助成研究 中間報告

16:00

ウェアラブルNIRSを用いた自動・手動運転時のドライバの脳活動データベースの構築と評価  
日本大学 生産工学部 機械工学科 教授 綱島 均氏

16:15

発達障害のある子どもたちへの合理的配慮を伴う教育プログラムの開発  
國學院大学 人間開発学部健康体育学科 教授 村上佳司氏

16:30

ドライブレコーダによる実事故映像を用いた自転車・歩行者事故発生要因の解明  
名古屋大学大学院 工学研究科 教授 水野幸治氏

16:45

救命救急センターと連携する交通事故自動通報システムによる交通弱者の被害軽減  
佐賀大学大学院 工学系研究科 准教授 中山功一氏

17:00 閉会

平成29年度助成研究テーマ、研究概要、助成研究者プロフィールはこちらからご覧いただけます。

<http://www.takatafound.or.jp/support/theme/indexH29.php>

<http://www.takatafound.or.jp/support/interview/>



地下宴会場・ホール平面図